

「第 11 回雲仙・普賢岳溶岩ドーム崩壊ソフト対策検討委員会」  
議事要旨

開催日： ー  
場 所： ー

※本委員会は、新型コロナウイルス対応のため会議形式での開催を見送り、各委員へ個別にテレビ会議等による説明を行ったうえで意見を集約し、議事要旨としてとりまとめたものである。

説明日時：令和3年1月20日～令和3年2月9日

**1. 意見を集約した委員** (敬称略)

○学識委員

下川委員長、清水委員、山田委員、木村委員、中谷委員、高橋委員、蔣委員

○行政委員

鳥巢委員、藤井委員、荒木委員、奥田委員、小村委員、古川委員、松本委員、  
金澤委員

**2. 議事要旨**

(1) 第11ロープ(溶岩ドーム)の挙動の観測成果

観測成果に関連して下記の意見等が出された。

【委員からの意見】

- 観測データからは、地すべりのような現象とは一概に言えない。溶岩ドームの内部構造を知る方法を検討していく必要がある。
- GB-SAR の観測データの推移は今後も注意深く見ていく必要がある。
- 溶岩ドームの挙動をここまで長期的、かつ緻密に観測している例は世界的に見てもあまりない。これまでの成果をとりまとめて将来に備えておくべき
- 例年どおりで大きな変化はないということも1つの事実である。

(2) 監視基準等の見直し検討

監視基準値の見直しは実施しないことで了承された。関連して下記の意見が出された。

【委員からの意見】

- より長期的な降雨量と監視基準値設定の考え方については今後の検討課題である。

### (3) 今年度発生した小崩落について

今年度発生した小崩落について下記の意見が出された。

#### 【委員からの意見】

- これらの小崩落はいずれも一過性の現象と考えられるが、このような小崩落が連続して発生するようなことになると溶岩ドームの崩壊につながる恐れがある。少し注目しておく必要がある。
- 崩壊した箇所の溪床勾配、発生場所（方位等）の関係性を整理しておく必要がある。
- 振動センサーの波形は内部構造に関連性があるかもしれない。

### (4) ソフト対策会議等からの報告

ソフト対策会議等からの報告に関連して下記の意見が出された。

#### 【委員からの意見】

- 「合同防災訓練」の取り組みは是非継続していただきたい。

### (5) まとめ

#### 【委員からの意見】

- 内容については了承する。

※ソフト対策検討委員会の移行について各委員に説明。反対意見なし。

以上